

匠の街春日部かわら版

発行 餅コーワ
編集室 工房えびはら

「ぶらり散歩」-45- 和紙の里 道の駅おがわまち

春日部から車で1時間半ほど「道の駅おがわまち」に到着します。埼玉県中央部よりやや西に位置し、外秩父の緑豊かな山々に囲まれた小川町は、豊かな自然と歴史、文化が調和した「武蔵の小京都」と呼ばれている風情ある町です。

小川町には、長い歴史の中で培われた数々の伝統が、今も息づいており、和紙や絹、建具などが知られています。特に和紙の歴史は古く、宝

龜5年(744)の正倉院文書に武蔵紙の記録が見られることから、1300年以上の歴史があるものと考えられています。当時、武蔵国には高麗の帰化人が多く、彼らによつて手漉きの技術がもたらされ武蔵の紙は広まります。これが小川和紙の始まりだとも言われています。

和紙は、厳しい寒さと水が冷たいほど、いいものができるというたいへんな作業で

す。朝早くから夜遅くまで、つらい作業の合間に「紙漉き唄」が歌われていたようです。現在では地元のコンサートなどでも耳にすることが出来るようになり地元の活性化に繋がっています。

令和7年5月30日「コアルオーブン」した「道の駅おがわまち」は、「手漉き和紙と有機の里を」コンセプトに、地域の自然、食、文化が融合した体験型パークとなりました。家族みんなで1日中楽しめるお出かけスポットでした。

【地域産業振興施設】



直売所や食堂を備えた地域産業振興施設の直売所には、地元農家から届く野菜や果物をはじめ、埼玉の特産物である蕎麦や芋、発酵食品などが並びます。お土産など物産品の売店、地元農産物の直売所や食堂、ファーストフードやスイーツなどが購入できる賑わいの中心です。

おいもどんどん野菜売り場
埼玉すいーとぽーと
埼玉わがのチーズバー
深谷わがの海老揚げ煎餅

埼玉味噌まんじゅう

お味噌汁の素蟹、金目鯛

埼玉ぎょうざ、手揚げ醤油おかし

醤油みたらしロールケーキ

お土産候補がたくさんあります。

「里山ごはん食堂」

有機野菜や発酵食品などを使った料理を中心にグルメの数々があります。

「ベーカリーおがわまち」



開店前から行列で、深谷わがをふんだんに使ったパンなどが並んでいます。道の駅おがわまちの名物！和紙あんぱんは、筆者のお薦めです。



さつ、この地は緑豊かな自然と美しい清流によつて酒造りの盛んな町です。蔵元見学も出来ます。小川町の酒の販売コーナーも広く、小川銘酒の「帝松」「晴雲の孤樽」なども目を引きます。「晴雲酒造周辺観光案内マップ」のチラシがありましたので蔵元巡りもぶらり楽しんでました。

【伝統工芸施設】



1990年に開館した埼玉伝統工芸会館も今回のリニューアルで、ユネスコ無形文化遺産「細川紙」の実演見学や紙すき体験うちわづくり、和紙行燈づくりの体験ができるほか、和紙文化の歴史が学べる和紙展示室、和紙の工房や売店を備えた伝統工芸施設となりました。



【ぶれいあ広場】

子どもたちが楽しく遊べる公園などがあります。また電動アシスト自転車、電動トウモロコシ、電動キックボードのレンタルもあるので、周辺の里山をぶらりつとめぐる観光も楽しめます。

「しみたらしだんごソフト」



埼玉県産牛乳と小川庵特製のみたらしをたっぷりつけた、小ぶりのおだんごがのつたソフト。甘いよばくで新しい味わいでした。(450円) 本日のお昼は「里山ごはん食堂」で、サクッと美味しいとんかつ定食を頂



きました。(1430円)
所在地 小川町小川1220番一
営業時間 9時~17時

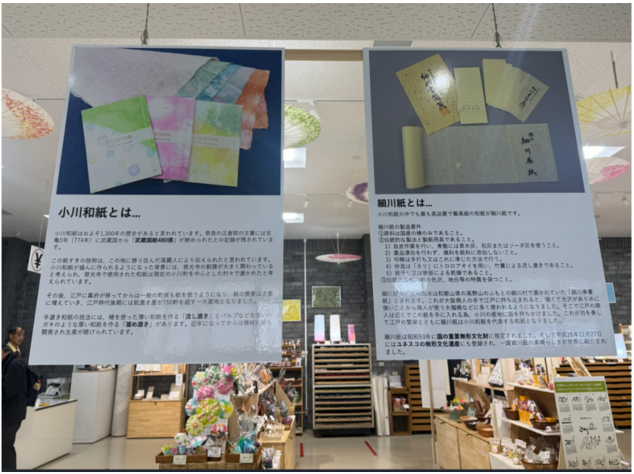
【細川紙の歴史】

細川紙は、楮(こうぞ)を原料とした伝統的な手漉き和紙で、現在は小川町と東秩父村で伝承されています。未晒しの純楮紙ならではの強靱さと、素朴ながらつややかな光沢をもち、紙面が毛羽立ちにくく、剛直で雅味に富んだ味わいです。

細川紙は、紀州高野山の細川村(現在の和歌山県高野町)で漉かれていた細川奉書の技術が、江戸時代中期頃に江戸に近い小川周辺に入ってきたものといわれています。もともとこの地域でも紙漉きが行われており、その紙が細川紙に似ていたためその名が使われるようになったのかもしれませんが、江戸の商家や町方、村方での帳面用紙、庶民の生活必需品として好まれ、見た目の美しさもさることながら紙そのものの強靱性が求められました。明治以降も帳面・帳用紙・襖紙などとして広く用いられたが、戦時中は砲兵紙や気球紙などの軍需品としても使われたのは有様です。戦後の高度経済成長期を経て生活様式等の変化により細川紙の需要も大きく減少しました。

【道の駅おがわまち】ぶらりのは、見応えと食へんえのあやう日でした。

(共栄大学各員教授 海老原武)



11月号 Vol.323
2025年11月20日（木）

発行所：（株）コーワ
発行者：広地 進
制作・編集：工房えびはら
発行日：毎月20日発行

読者の広場

朝日新聞と森永牛乳を皆様の笑顔のために届ける情報誌

ASA 春日部

〒344-0055
春日部市八木崎町 1-19
☎0120-86-1637 FAX:048-761-0044
http://www.asa-kowa.com

コーワ春日部ミルクセンター
TEL:048-753-1800 FAX:048-761-3036



漢字ぐるぐるパズル◇リストの漢字を白マスに入れて、漢字しりとりを完成させてください。リストに残った四つの漢字でできる熟語が答えです。

正解者の方に抽選でプレゼント致します！
（希望商品を2つまで書いてください）

- ①朝日新聞 天声人語書き写しノート 3名様
②森永絹ごしとうふ（常温保存可） 10名様
③森永充実野菜（常温保存可）3本 6名様
④森永まろやか黒酢（黒糖&りんご味）3本 6名様

しつかりと普通1丁ずつ

リスト

一家画会
外護行校
子室手消
証食身進
人声大断
地着通敵
電動日布
部風文歩
明綿問菓
油

寒		邪		明			
	産	地		化		学	気
	月			商		活	毛
内	進	題		野	物	活	団
			袋				
長	後	訪	庭			物	菓
			分			愛	
学		増	欲			供	

難易度 ★★☆☆（中級）
答え

先月号の答えは『諸行無常』でした。

クイズ応募者50名様で50名の方が正解でした。

深	秋	色	鉛	筆	無	精	米
士	気	候	変	動	植	物	粒
計	変	更	生	活	力	理	粒
会	種	真	集	落	不	学	辛
評	機	写	樹	葉	足	園	苦
品	外	模	帯	声	音	祭	労
飾	室	書	図	地	本	日	話
宝	財	銀	金	賃	間	手	上

諸行無常

☆☆☆「漢字ぐるぐるパズル」クイズ解答応募先☆☆☆

ハガキかメールで「答え」、「住所・氏名」をご記入の上、コメントを添えてご応募ください。

〒344-0055 春日部市八木崎町1-19（株）コーワ「漢字ぐるぐるパズル」係 メール otayori@asa-kowa.com まで
ハガキは11月28日消印有効、メールは11月末日到着有効（当選者の発表は発送をもってかえさせていただきます）



サンマに思う 秋はどい／

朝日新聞立川支局員 山浦 正敬

でした。

東京の恒例行事「目黒のさんま祭」に2年ぶりに足を運びました。前任地だった宮城県気仙沼市で水揚げされた新鮮な約2500匹が会場に届けられました。

歴史的な不漁が続く秋の味覚です。近年は祭りに運ぶサンマの確保も一苦労です。会場で炭火焼きしたサンマを味わえるのも、事前の抽選で当たった幸運な人たちです。

しかし、今年は余裕があつて当日券も配られました。魚体も例年より大きめ

でした。

気仙沼市の関係者が明かしました。「秋が深まるにつれ、魚が小さくなっています。何か立派なサンマを持って来られました」

今季のサンマ漁は久々に明るい幕開けでした。気仙沼で知り合った船頭（漁労長）は、千葉・銚子漁港に

今季初水揚げした時、「こんな大ぶりは珍しい」とコメントしていました。早秋に脂の乗ったサンマが獲れて、80代半ばと経験豊富な船頭も驚いたようです。

船頭も驚いたようです。

昨季までと何が違うのでしょうか。太平洋側を流れる黒潮が大きく南に曲がる「黒潮大蛇行」が春に終息したのが一因かもしれない。蛇行は過去最長の7年9カ月続いたそうです。

ただ、沖合調査にもとづいた予測通り、秋の深まりとともにサイズは小さくなりました。それも、深刻な不漁からの反転攻勢にはほど遠い状況が続きます。

近年、残暑から一気に冬を迎え、秋が短くなったようです。旬のサンマやサケが食卓から遠ざかり、紅葉も駆け足で過ぎ去るようになって、日本の四季はどうなるのでしょうか。



イラスト：あやか

Cooking

たたきゴボウと鶏肉のピリ辛煮

1人分450kcal 塩分4.0g ▷35分

●材料(2人分)

ゴボウ……………1本(160g)
鶏もも肉(皮つき)…1枚(250g)
ニンジン……………1/2本
シイタケ……………3枚
サラダ油……………大さじ1/2
豆板醤……………小さじ1/2
④ だし……………1と1/2カップ
酒……………大さじ2
砂糖……………大さじ1
しょうゆ……………大さじ2と1/2
みりん……………大さじ2

料理・市瀬悦子 撮影・木村拓



【作り方】

①ゴボウは麺棒でたたいて割る。長さ4cmに切り、さっと水にさらして水けをきる。ニンジンは一口大の乱切りにし、シイタケは軸を取って四つ割りにする。鶏肉は小さめの一口大に切る。
②フライパンにサラダ油と豆板醤を中火で熱し、肉を加えて炒める。肉の色が変わったらゴボウとニンジン、シイタケを加えて炒める。全体に油が回ったら④を加えて混ぜる。煮立ったらふたをして、弱めの中火で20分ほどゴボウに竹串がすっと通るまで煮る。ふたをとって中火にし、混ぜながら3分煮る。

当店ご購入者様へ

便利なWEB サービスを開始しました！WEBからお休みのご連絡や各種お申込みを受付けるサービスを開始しました。24時間365日ご利用いただけます。

【PC／スマホの方】 <https://www.asa-kowa.com>

☆携帯の方はこちら

【空メール：y@asa-kowa.com】

※件名、本文は必要ありません。

※受信制限をご利用の方は、「asa-kowa.com」からのメールを許可してください。



お便りコーナー



◆最近、外国の方を多く見かけるようになった。日本人の労働者が少ないからだろうか。日本人の人口が増えればいいのだから、子供が少なくちよつと寂しい感じがする。若い人が子育てしやすい社会になるように、政治家は考えて欲しい。 【大枝 H・さん】

◆フッ素コーティングの調理器具から鉄へ変更を試みていますがなかなか厄介です。鉄瓶が油断するとすぐさびるし重たいので高齢になるとしんどいです。鉄分補給にはなりますがサブリで飲むほうがたやすいかもしれません。 【大枝 S・さん】

◆すっかり秋を通り越して初冬なみの気温になってきた。厳冬になるのか少し気にしている。女性初として高市首相が誕生した。評価はこれからだが、政策への期待度から株価は5万1千円を突破した。しかし田安も進み、物価高騰が生活を直撃しつづけている。更に軍拡による増税が気になる。今後の政策や対策を注視していきたい。 【南 N・さん】

◆新聞の「秋刀魚焼く 日本の空に けむり満つ」の句を見て、昔日の秋の情景を思い出しました。そして秋刀魚は、つぐつぐ「庶民の魚」あるべきだと、強く思いました。 【備後東 K・Aさん】

◆毎年、この時期に群馬県沼田市にりんご狩りに行っている。ここ数年はりんご狩りはせず、親せきや友人に送ってもらう物を頼みに行っている。陽光という品種で甘みも酸味もちょうどよくとてもおいしい。今年も主人と出かけ、大きくなって色つやのいいりんごが食べられて大満足である。 【谷原 K・ーさん】

◆やっと涼しくなり秋を感じる季節になりました。とても暑かった夏をよくぞのりきつたなと老体を褒めてやりたいです。 【粕壁 H・sさん】

◆新聞休刊日には、新聞の読み落とし箇所が必ずあるので、4〜5日分を引っぱり出して目を通すと、驚くほど読んでいない所があるので、得した気分と毎日じっくり読むと思う気持ちになります。 【大沼 M・Oさん】

◆今回始めてパズルに挑戦しました。思っていたより難しかったです。スタートの答えが難しく、途中からで解きやすいのから埋めていきました。解けた時はやったーと達成感がありハマりそうです。 【豊町 C・Aさん】

◆天気が悪くなると、特に曇りで雨が降りそうになると頭が痛く、体調が非常に悪くなります。気象病というらしいので漢方薬を処方され服用しています。横になっている日が多くなっています。 【栄町 K・Nさん】

◆天気が悪くなると、特に曇りで雨が降りそうになると頭が痛く、体調が非常に悪くなります。気象病というらしいので漢方薬を処方され服用しています。横になっている日が多くなっています。 【恩間新田 Y・Kさん】